

れいほく～藤原さん～

【1】オリジナル品種 ～ノーブルについて～

- ・30年前、三四郎(ピンクの一重) から改良してノーブルができる



【2】栽培期間

- ・球根を植えて収穫まで、おおよそ4か月
- ・養成用40～50日で球根になる



4月に植えた物



養成用

【3】新品種

- ・ノーブルのピンクバージョン
オリエンタルの八重とかぶるので需要はあまり見込めなそう→試作はしているが
生産は決定されてない



【4】現在の課題

- ・油の値段の高騰で冬の生産コストがあがっている
特に高知県は値段が高い
- ・後継者不足
オリジナル品種のため、なかなか他人に譲ることが難しい
農協の人は、なんとか生産を続けたい思いで努力してる
藤原さんの孫に期待

れいほく～上田さん～

【新品種】

- ・まだ名前はないが、流通予定

【他品目】

- ・ウラジオガジ、15年後に収穫
その後は5年単位で収穫可能
尿路結石に効果があ



新品種



みもり

- ・サンダーソニア
生産数が減っているので、
作ってみようかな?と検討中



森岡農園

【1】1日の流れ

- ・収穫→水揚げ→選別して→スリーブつける→箱詰め→冷蔵庫に保管
この作業を朝から開始して、夕方までに終わらせる



【2】栽培期間

- ・球根をコンテナで膨らませたあと畑に植える
- ・3/20冷蔵庫から出し膨らませ→4/20植える→6/23頃に収穫



膨らませた植えた物



4/1植えた物



【3】蒸気消毒

- ・植え付け前に、土壌を蒸気で60度にし菌や害虫を減らす



【4】現在の課題

- ・6月から夏にかけての出荷量が激減
新潟などの高冷地の品種が出回りだす時期、その品質に負けてしまう
- ・労働不足
海外から、働き手を得ているが、1年たらずで辞めてしまう人が多いので
また、人を探さなければならない

中村農園

【1】ユリの品種について

・LAユリ

Longiflorum(ロングフロラム): 鉄砲ゆり

Asiatic(アジアンティック): スカシユリなどアジア系

豊富な花色、香りがほとんど無いのが特徴

・OTユリ

Oriental(オリエンタル)とTrumpet(トランペット)を掛け合わせたもの

華やかな香りと花が非常に大きい

【2】今後の流れ

- ・今まで主流だったオリエンタルは、八重咲き、無花粉へという流れが強く様々な品種が生まれている

【良かった品種】

